

センターだより

平成27年11月15日

NO. 54

東濃西部少年センター TEL 23-3455 FAX 26-8813

内 容

強調月間について	p1
研修会を終えて	p2~3
3名の新任者特集	p4~6
多治見地区長雑感	p7
岐阜県優良指導員表彰	p7
声かけ活動の状況	p8

11月は、内閣府 「子ども・若者育成支援強調月間」です。



東濃西部総合庁舎にかかる吊し雲

センター職員

所 長 宮嶋 昌治
指導主任 坂井 正昭
事務担当 柴田 弥生

「声かけは、支援の第一歩」

11月は、内閣府主唱で、「子ども・若者育成支援強調月間」です。多治見市、瑞浪市、土岐市では、この月にセレモニーを含む各種活動を、関係機関・団体と地域の皆様が、協力・連携しあって、子ども・若者への支援の取り組みを集中的に実施されます。次の3つの支援の取り組みが重点です。

- ・「すべての子ども・若者の健やかな成長を支援する」
- ・「困難を有する子ども・若者やその家族を支援する。」
- ・「子ども・若者の健やかな成長を社会全体で支えるための環境を整備する。」

先日の午後、JR駅の通路を南側から北側に向かって歩いていたら、エレベーターにより死角になっているスペースで5人の若者が、床に座り込んでトランプに興じていた。中の一人は、くわえ煙草。小声で「たばこは、ダメ」と伝えると大きい声で「やめる、やめる、吸い殻は片付ける」と返事。この悪いとわかっているのに人目をはばからず堂々と規則を破っていた若者は、以外にも、声かけを待っていたようだった。「声かけ」は、支援の第一歩を実感した。

平成27年度三地区合同研修会を終えて

東濃西部少年センター

平成27年度の三地区合同研修会

日時・・・平成27年10月3日(土) 9:45～12:00

場所・・・セラトピア土岐2F小ホール

講師・・・岐阜少年鑑別所 所長 浦田 洋 様

演題・・・青少年問題における少年鑑別所の役割

参加者・・・67名

- はじめに -

お忙しい中、平成27年度の三地区合同研修会にご参加頂きました皆様本当にありがとうございました。心からお礼申し上げます。

用事などで欠席された方に、研修会の内容を少しでもお伝えしたいと思い、職員3名が講演から学んだことを交流しあいこの文にまとめました。講演のすべてをお伝えすることはできませんが、印象に残ったことを短い文章にまとめました。読んで頂いて、明日からの「声かけ活動」に役立つことが僅かでもあればありがたいです。

- 講師さんについて -

本年度の三地区合同研修会の講演は、講師に岐阜少年鑑別所所長浦田洋様をお願いいたしました。少年鑑別所と申しますと、名前を聞いたことがあっても、役割等の詳しいことは知らないという方も多いのではないのでしょうか。少年鑑別所と少年院の違いを理解している人も少ないのではないのでしょうか。

今年度少年鑑別所の所長さんに講師をお願いした経緯は、昨年度少年センターの職員が、岐阜県主催の6回の相談業務の研修会に参加したことが、きっかけでした。6回の研修の中の一回到、少年鑑別所の方の講義があり、その内容が、「声かけ活動」をしている私たち少年指導員にとって若者理解の参考になると考え、年度初めに、岐阜少年鑑別所に講師派遣をお願いしたところ、所長様ご自身が快く引き受けてくださり今回の講演となりました。



講演中の浦田所長

- 講演から学んだこと -

私たち職員は、浦田様のご講演の中からいろいろ学ばせて頂きましたが、その中でも若者との接し方で、特に大切にしていかなければならない次の10のことが強く印象に残りました。

- 1) 少年にダメは入(はい)らない。悪いこととわかっていても、それ以上に楽しい事があるから非行をする。自分を見つめ直す、まわりから保護する。
- 2) 規則正しい生活で健康な自分をめざめさせる。
- 3) 音に敏感な若者がいる。小さい声で話すこと。
- 4) 職員が共通理解をした上で、若者に接していく。
- 5) 辛抱強く説明する。
- 6) 若者の「たいしたことない、やっていない、周りが悪い」等の話を最後まで聞いてやる。傾聴
- 7) 「少年が」が、常に主語になるようにする。
- 8) 少しでも変わってほしいという願いを持つ。
- 9) 目的を持って若者の行動を見て、メモ(記録)しておく。
- 10) 認められる機会が少ない若者たち。

浦田様の講演をきいて、私たちのこれまでの若者たちと接してきた姿勢は、反省することばかりでした。これからは、講演で学んだ上記10項目を今後、若者との接し方で生かしていきます。

- 参加者のつぶやき -

当日の講演に67名の方が、参加されました。保護司、更生保護女性会、BBS会、教員、PTA、少年センター、町づくり市民会議、民生児童委員さんなど、各種団体に所属され少年指導員になってみえる方々は、それぞれの立場で興味深くきかれたことと思います。また、今回は、一般の方の参加も多くありました。指導員の方が、「一緒に行きましょう」とお知り合いの方に呼びかけをして頂いたと聞いております。研修会への参加者を1人でも多く増やしたいと願っていました東濃西部少年センターとしましては、本当に感謝にたえません。ありがとうございました。講演後、多くの方から、今まで知らなかった「少年鑑別所の役割」のお話がきけてよかったという声が多くありました。

- おわりに -

最後になりましたが、岐阜市鷺山の少年鑑別所から公共交通機関を利用して土岐市まで来て頂き、熱心にご講演をしていただきました浦田洋様に心から感謝いたします。放送機器の関係で音声聞き取りにくい面もありましたが、ご講演いただきました浦田洋様の若者たちをおもう熱い気持ち、私たちに明瞭に伝わってきたお話でした。

少年指導員の就任にあたり

多治見地区 1 班 養正
林 正勝

今年度 4 月（平成 27 年）に少年指導員の依頼が私にきました。

あまり知らない私ですので、受けるに当たり少し躊躇しましたが、自治会 2 区からの選出とのことで、区長の立場から引き受けることにしました。

少年指導員の活動は漫然とは感じていましたが、その後の研修、活動を通じて少しずつ理解を深めてきました。

実際、区長を 2 年前に引き受けましたが（25 年度より）この時も自治会の活動に理解が乏しく、引き受けるに当たり大いに悩みましたが、この時は中々引き受ける方がいなくて、また、少しぐらいいは地元貢献したらとの妻の後押しで引き受けることにしました。

今まで勤めの関係で地元には長くないなくて、ほとんど自治会活動には縁がなく、退職後、町内会長、町内の体育委員を 1 年程度経験しただけでした。

区長に就任し、様々なボランティア活動がされていることに認識を新たにしております。

例えば、青少年まちづくり委員会での活動です。

あいさつ運動、私の主張大会、防災体験会、その他数多くの行事を行い青少年の健全育成に寄与されておられます。役員の方々は大変熱心に活動をされており感服しております。

この活動は、少年指導員の方針にも似ているものと感じております。

少年指導員や青少年まちづくり委員会の活動を通じて感じたのは、挨拶の時の受け方でした。小学生の返事は大変元気よく、中学生、高校生になるに従い声も小さくなってきます。ましてや大人に至っては、返事も返ってこない時もあり、青少年の模範となるべき大人も少し反省するところがあるように感じました。

先ほど記述しましたが、私自身地元にも多様な素晴らしいボランティア活動がされていることをあまり知らず、恥じ入っているところです。

区民の皆さんもあまり認識がないと思います（私だけかもしれませんが）、今年度に入り自治会 2 区内で活動されているボランティア団体に活動内容をアンケート調査し、近く町内各世帯に回覧広報を考えています。これにより少しでも理解をしていただき、今後の活動の一助となればと考えています。



地域の拠点・養正公民館

声かけ活動に思う

瑞浪地区C班土岐
桑原 純子

5月に東濃西部少年センター所属少年指導員の委嘱状をいただき、4ヶ月、諸先輩方の熱い思いをうけ止めながら毎月の声かけ活動に参加させていただいています。

活動中、土岐川沿いの公園に数人の男子高校生があらわれ、中には火のついた煙草を持っている生徒もいましたが、こちらの姿を見て慌てて逃げていきました。

同じ公園で小雨の降る中、ベンチで語らう私服の高校生2人(カップル)を発見。傍らに雨にぬれる自転車2台、にぎやかにあいさつを返してはくれましたが、女の子がぬれてかわいそうだと思い、早く帰るように声かけをしました。

パロー近くの公園でブランコで遊ぶ女子高生3名。明日からテストが始まると言う事でしたが、にぎやかに楽しくしていました。指導者に顔見知りの先生がみえ、「何をやっとな。」としかかれていました。

パローの裏の人通りのない暗い道を一人で帰る女子高生に会い、この道は通ってほしくないと思いました。

土岐川の土手で数人の高校生の男女がにぎやかにおしゃべりをしていましたが、帰宅を促しても帰る様子はありませんでした。

このように、大人たちの目にふれる所にいる子供たちには、声かけ、指導できますが、ゲーム、メール、ラインなどで自分だけの世界に入り込んでいる子供が、昨今の理解しがたい事件を起こしているような気がします。

家族を思い、他人を思いやる心を育てていってほしいと切に願っています。街中で見かける子供たちが、事件や事故に巻き込まれないようお願いしながら、今後の声かけ活動を続けていきたいと思っています。



高校生もがんばっています

「気をつけてね。」

土岐地区 4 班濃南(小)

加藤 恵

私は、今年度濃南地区に赴任し、巡回指導も初めてさせていただいています。

小学校は、昨年までの鶴里小・曾木小が合併し、新しく濃南小学校としてスタートしました。通学方法もバスが導入され、全校児童 83 名の約 4 分の 3 がバス通学です。中学校は、ほとんどの生徒が自転車通学をしています。

私がこの地区に赴任しての一番の驚きは、学校の前の国道 363 号線を走る車のスピードの速さです。交通量があまり多くないことに加えて、見通しの良い一本道。ついアクセルを踏んでしまいがちになるドライバーの気持ちも分からなくはありません。遅刻をしないように急いでいるのかもしれませんが。

ある日、私は道路の反対側にある畑に行くために、子ども達と国道沿いを歩いていました。歩道はガードレールがあり、安心だと思っていました。その時前方からトラックが走ってくるのが見えました。傍を通過した時の轟音と風圧には、びっくりしました。子ども達はあおられて倒れてしまわないかと思ったほどです。また、曾木方面から自転車に乗って通学している中学生は、ややふらつきながらも、なだらかな上り坂を力いっぱいこいでいます。もし、バランスを崩したり、風にあおられたりしたら、倒れて事故につながるかもしれないと、ドキドキしています。そんな状況ですので、声をかける時には、とにかく「道路から離れてね。」「気をつけてね。」という言葉が中心になります。

濃南地区の子ども達は、小学生も中学生もよく挨拶をしてくれます。小学生はバス通学が大半ですので、バス停での見送りが毎日の日課となっています。中学生とはあまり関わることがなく、名前もわからないのですが、それでもすれ違う時には「おはようございます。」「さようなら。」と声をかけてくれます。それだけでもとても嬉しいのですが、私をもっと素敵だなと感じるのが、「笑顔」で挨拶をしている子が多いことです。こちらもつい笑顔になりますし、温かい気持ちになります。

そんな濃南地区ですので、子ども達の下校後の巡回も特に変わった様子はなく、平穏な日々が保たれているといってもいいと思います。

今年度は、小学校が一つになったということで、さらに曾木・鶴里、それぞれの地区と学校が一緒になって、子ども達の「健全育成」に力を注いでいきたいと思っています。



濃南小学校前の国道 363号

実状合った巡回

多治見地区長、11班北栄
小瀬 政秋

少年指導員として、10年近く携わって、声かけ活動を行っています。
今年度より地区長を受け取り組んでいます。

此の声かけ活動を何年も繰り返して、活動してきましたが、最近子供達が、多様化しているのか、外や児童館でいる姿が少なくなっているように思います。

指導員が、廻る時間や都合もあり、同じ時間に集中する事が多くなります。そのため、色々な方法を考え、人数の多い班では、半分に分けて、地域を広く廻る様にしたり、早めに出られる方は、下校時間に合うように廻るなどして、地域の安全を高められる様、更に、青少年の育成に繋がるようにしていきたいと思ひます。

自転車安全運転のチラシ

平成27年度岐阜県優良指導員表彰

平成27年11月29日(日)に「海津市文化センター」において「平成27年度岐阜県青少年健全育成県民大会」が開催されます。大会では、多年に渡り青少年の指導活動にご尽力された方々が表彰されます。東濃西部少年センター少年指導員からも下記6名の方が、受表彰されます。これまで多年にわたり少年指導員として精励し実績をあげられたこと、心より敬意を表します。受賞、誠にありがとうございます。これからも子ども・若者の育成支援をよろしく願いいたします。

6名の表彰される方々です。受賞おめでとうございます

岐阜県生活環境部長表彰(10年以上精励)	和田 良輔 様(多治見地区)
同	小瀬 政秋 様(多治見地区)
青少年健全育成県民会議会長表彰(5年以上精励)	伊藤 保映 様(多治見地区)
同	可児 久美子様(多治見地区)
同	野上 利行 様(瑞浪地区)
同	小倉 博 様(瑞浪地区)

平成27年度上半期 東濃西部少年センター 声かけ活動の実施状況

(1) 月別の声かけ状況

区分	年別	4月	5月	6月	7月	8月	夏休夜間特別	9月	上半期計
活動日数	26年度	16	17	17	20	18	17	18	123
	27年度	15	15	16	18	18	20	16	118
活動回数	26年度	32	32	34	33	30	31	35	227
	27年度	32	33	33	33	33	33	33	230
活動人数	26年度	122	148	158	150	122	143	142	985
	27年度	124	152	148	139	130	154	134	981
多治見	26年度	62	71	79	68	57	68	61	466
	27年度	65	75	73	70	61	78	67	489
瑞浪	26年度	31	30	33	34	36	36	35	235
	27年度	28	36	35	31	35	38	33	236
土岐	26年度	29	47	46	48	29	39	46	284
	27年度	31	41	40	38	34	38	34	256
指導人数	26年度	12	14	10	11	0	1	5	53
	27年度	12	7	18	1	15	3	0	56
男子	26年度	12	14	9	11	0	1	5	52
	27年度	10	7	14	1	12	2	0	46
女子	26年度	0	0	1	0	0	0	0	1
	27年度	2	0	4	0	3	1	0	10

(2) 行為別の指導状況

(単位:人)

行為別 年度別 男女別	飲酒	喫煙	薬物乱用	粗暴行為	刃物等所持	金品不正要求	金品持ち出し	性的いたずら	暴走行為	家出	無断外泊	深夜はいかい	怠学	不健全性的行為	不良交友	不健全娯楽	1 危険な遊び	その他		合計	
	2 自転車関連違反	3 迷惑行為																			
26年度上半期	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	32	18	14	53
27年度上半期	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	16	33	19	14	56
男子	26年度上半期	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	31	17	14	52
男子	27年度上半期	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	14	25	15	10	46
女子	26年度上半期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1
女子	27年度上半期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8	4	4	10

- 1 道路上でのサッカー・ドッジボール・スケボー等の遊び、公園・河川敷等での危険な花火等
- 2 二人乗り 並進、無灯火、携帯電話での片手走行、小学生のヘルメット無し、その他危険走行等
- 3 駅前 駅売店 駅トイレ・コンビニ等にて、たむろ 居座り 飲食 化粧等する迷惑行為

(3) 学職別の指導状況

(単位:人)

学職別 年度別 男女別	小学生	中学生	高校生	大学生	未就学児	各種学校	有職少年	無職少年	合計
26年度上半期	15	7	10	0	0	0	21		53
27年度上半期	13	3	29	0	0	0	11		56
男子	26年度上半期	14	7	10	0	0	21		52
男子	27年度上半期	11	3	22	0	0	10		46
女子	26年度上半期	1	0	0	0	0	0		1
女子	27年度上半期	2	0	7	0	0	1		10

5月からの新指導部の活動では、毎月の活動回数が3地区の班総数33と同じく全て33回であり中止された活動がありませんでした。
 昨年同様、今年の夏も不安定な天候だったことを考えると、各班の活動に心より感謝いたします。今後も子どもたちや若者たちの行動を見守りながら、声かけ活動をよろしく願います。幸い大きな事件・事故はおきていません。